

もくじ

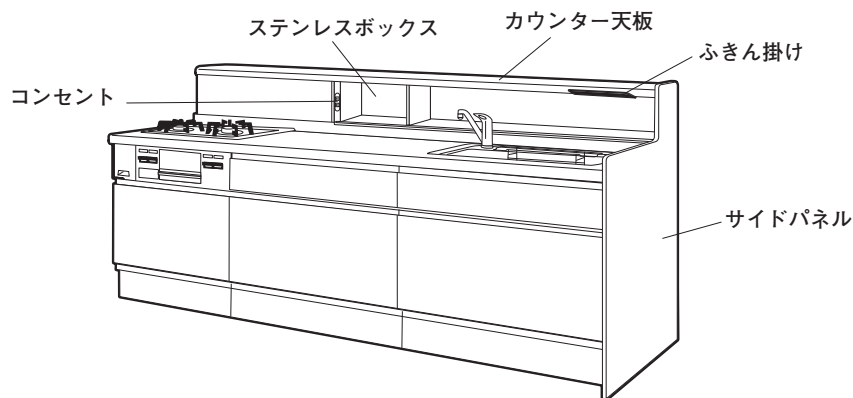
1. 部位と名称	
各部の名称	2
2. 安全上のご注意	2～4
3. ご使用上のお願い	4～5
4. ご使用方法	
扉の調整方法	6
引き戸について	7～8
棚板の高さを変えるには	9
5. お手入れ方法	10
6. 仕様	11
7. 故障・異常の見分け方	11
8. 保証・点検・修理のご案内	11
9. お問い合わせ窓口	12

- このたびは、ハウステックシステムキッチンをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- 本書は、システムキッチン取扱説明書の補足説明書になります。
システムキッチンの取扱説明書と併せてご覧ください。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、調理機器・オプション機器の取扱説明書とともに、大切に保管して必要なときにご参照ください。

1. 部位と名称

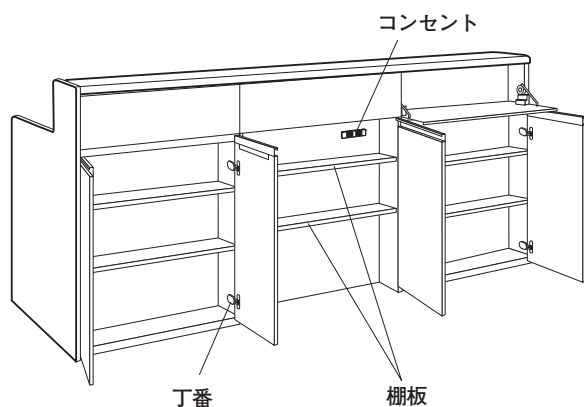
(1) 各部の名称

キッチン側

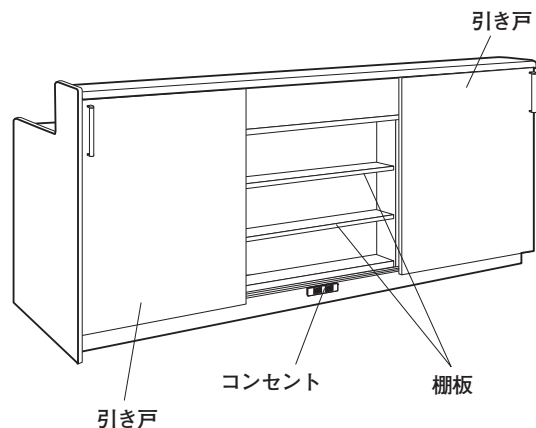


リビング側

【開き扉+オープンプラン】



【引き戸プラン】



2. 安全上のご注意 (必ずお守りください)

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

2. 安全上のご注意（必ずお守りください）

警 告

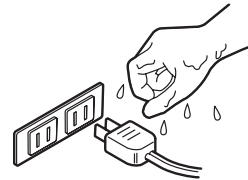
電源コンセントの表示容量（ワット）をこえる電気器具を使わない。

たこ足配線などで表示容量をこえると、発熱により火災の原因になることがあります。



濡れた手でコンセントや電源プラグに触れない。

感電のおそれがあります。



ガタついているコンセントは使わない。

火災、感電の原因となりますので、ただちに使用を中止し、点検・修理を依頼してください。



コンセントに水をかけない。

感電や火災の原因になることがあります。

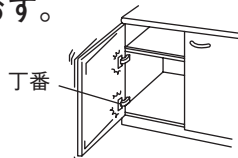


注 意

扉が傾いたり、ガタついている時は、
丁番のネジをしめなおす。

扉が落ちて、けがをする
おそれがあります。

（扉の調整方法：6ページ参照）



コンセントに電源プラグを差したまま
引き戸の開閉を行わない。

電源コードが破損し、発火の原因になります。



扉や取っ手にぶらさがらない。
カウンターやワークトップの上に
乗らない。



扉はずれたり、けがをするおそれがあります。

扉開閉時に、丁番にさわらない。

丁番に指を挟んでけがをするおそれがあります。
（特にお子様にはご注意ください。）



自分で改造しない。

思わぬ事故の原因になることがあります。



扉を大きく開けすぎない。

扉はずれて、けがをするおそれがあります。



電源プラグのほこりは定期的にとる。

ほこりと湿気で絶縁不良となり火災発生のおそれがあります。電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布でふいてください。



電気器具の電源プラグを抜く際は
電源コードを持たずに、電源プラグを
持って引き抜く。

コンセントや電気器具の電源コードが破損し、
漏電や発火の原因になります。



2. 安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注 意

キャビネット内でオーブントースターやポットなどの、発熱する家電製品を使わない。



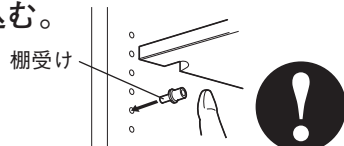
火災の原因になるおそれがあります。

棚板からはみ出して収納しない。



引き戸の開閉時に収納物が破損したり落下してけがをするおそれがあります。

棚受けは奥まで差し込む。



棚板が落下して、けがをするおそれがあります。
（棚板の高さの換え方：9ページ参照）

棚板に8kg以上載せない。



棚板が変形・破損したり、収納物が落下してけがをするおそれがあります。

引き戸の調整や、取り付け後には、下レールガイドとローラーUが確実にハマっていることを確認する。



引き戸が落下してけがをするおそれがあります。

- ふきん掛けに3kg以上の力を加えない。
- ふきん掛け以外の用途に使用しない



ふきん掛けが変形・破損するおそれがあります。

固形、粉末および液体の塩素系洗浄剤・漂白剤・ぬめり取り剤は、使ったり、近づけたりしない。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になり、水漏れのおそれがあります。保管の場所や方法に十分注意してください。
その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでご使用ください。



3. ご使用上のお願い

カウンター天板

硫酸・塩酸系の強酸類や漂白剤は絶対に使用しないでください。

カウンター天板を傷めるおそれがあります。



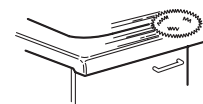
お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

変色したり、傷がつくおそれがあります。



金属タワシや、粒子の粗いクレンザーでこすると傷が付きます。

食器や土鍋など硬いものでこすられた場合、傷が付きます。



3. ご使用上のお願い（続き）

カウンター天板(続き)

人造大理石は直射日光に当てないでください。

変色したり、つやがなくなるおそれがあります。



人造大理石にコゲ取り材(塩化メチレン系)は使用しないでください。

付着した場合、表面が変色することがあります。



水滴が残っていると水垢の原因になります。

また長期間お手入れをしないと水垢がとれなくなるおそれがあります。

ステンレスボックス

ぬれた包丁や缶詰めなどの鉄製のものをステンレス部分に放置しないでください。

鉄製のものは水分があるとすぐサビます。そのサビがもらいサビ及び変色の原因となります。



しょうゆや味噌などの塩分があるものが付着したらすぐに拭き取ってください。

サビの原因となります。

硫酸・塩酸系の強酸類や漂白剤は絶対に使用しないでください。

ステンレスボックスを傷めるおそれがあります。



金属たわしや粒子の粗いクレンザーで擦らないでください。

ステンレスボックスが傷付き、傷ついた部分から錆が発生するおそれがあります。

扉・キャビネット

火気を近付けないでください。

その原因になるばかりか、火災の原因となるおそれがあります。



直接日光をあてないでください。

そりや変色の原因となるおそれがあります。長期間ご使用いただくと直射日光などの影響で色合いが変わることがあります。



お手入れに台所用中性洗剤以外は使用しないでください。



変色したり、つやがなくなるおそれがあります。

扉・キャビネット・サイドパネルに水がかかったら、乾いた布で拭き取ってください。

扉・キャビネットがふくれるおそれがあります。

キャビネットなどに油が付着したら乾いた布でふき取ってください。

放置すると染みになることがあります。

吸盤を扉に取付けないでください。

扉が変色するおそれがあります。

ハミガキ、うがい薬などが付着したらその場ですぐに中性洗剤をつけたスポンジなどで洗い、水拭きをして洗剤分を拭き取り、から拭きをして仕上げてください。

放置すると変色・変質することがあります。

ぬれた手で扉や引き戸の開閉をおこなわないでください。

扉やキャビネットがふくれるおそれがあります。

4. ご使用方法

扉の調整方法

- 扉の調整は丁番で行うことができます。
調整する際は、プラスドライバーを使用して以下の要領で行ってください。

⚠ 注 意

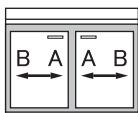
- ゆるめた調整ネジは、調整後に
しっかり締め付ける。

扉が外れて、けがをするおそれがあります。

左右・傾きの調整方法 (図-1)

左右調整ネジを回すことで調整が行えます。

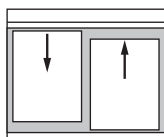
左右調整ネジを時計回りに回すと扉がB方向に動き、反時計回りに回すと扉がA方向に動きます。



※調整は必ず±2mmまでとして
ください。

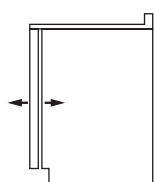
上下の調整方法 (図-2)

2ヶ所の上下調整ネジをゆるめます。
扉を上下に動かして、扉の調整をします。
調整後はネジをしっかり締め付けてください。

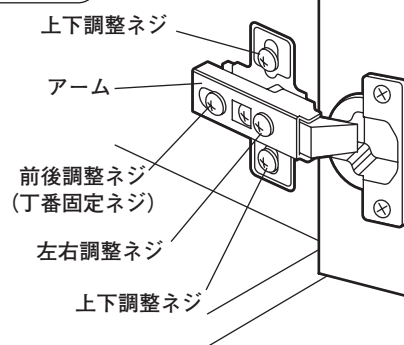


前後の調整方法 (図-3)

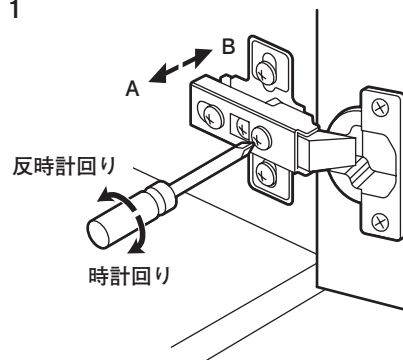
前後調整ネジをゆるめます。
アームを前後に動かして、扉の調整をします。
調整後はネジをしっかり締め付けてください。



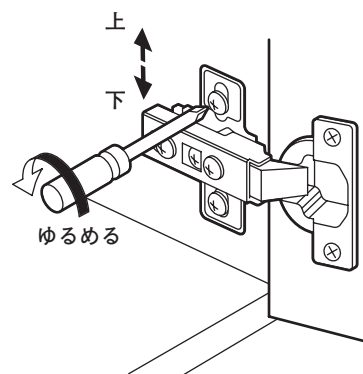
各部の名称



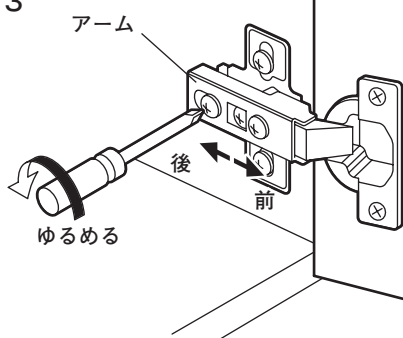
■図-1



■図-2



■図-3



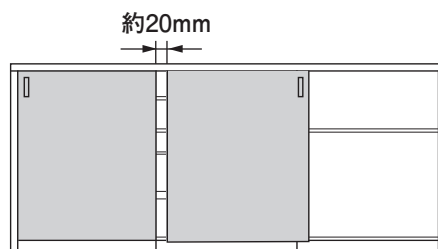
4. ご使用方法（続き）

引き戸について

- 引き戸はソフトクロー징機構により閉まりきる約50mm手前からダンパーが働き、静かに閉まります。

注) 引き戸の間や、キャビネットの中に手や指を入れた状態で引き戸の開閉を行わないよう注意してください。

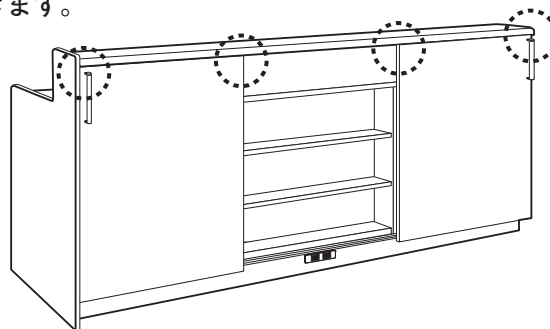
- 引き戸の間は指はさみ防止のために、約20mmのすき間が開くようになってます。



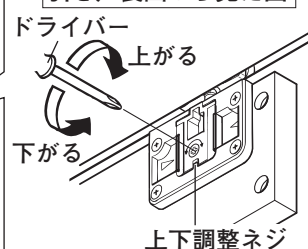
引き戸の調整方法

引き戸が傾いている場合は、扉裏面上部のローラーUの上下調整ネジを、回すことで調整ができます。

上下調整ネジを時計回りに上方向に動き、反時計回りに回すと下方向に動きます。



引き戸裏面から見た図

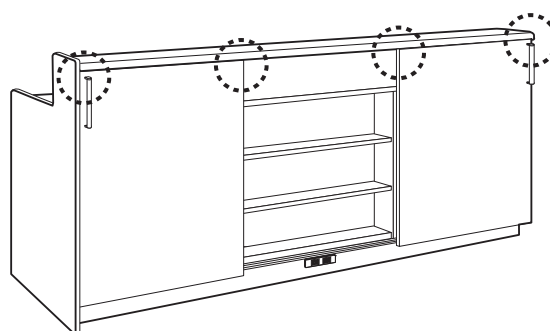


- 上げる場合…右に回す
- 下げる場合…左に回す

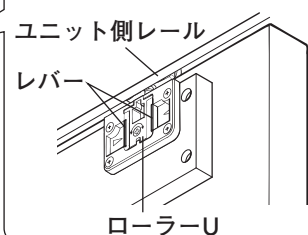
引き戸の取外し、取付け方法

1. 引き戸の取外し方法

引き戸を中央に少し動かし、引き戸裏面の上部、左右にあるローラーUのレバーをつまみ、引き戸を取り外してください。



引き戸裏面から見た図



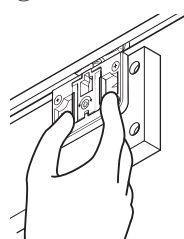
⚠ 注意

- ローラーUを外す時は無理な力をかけすぎない。

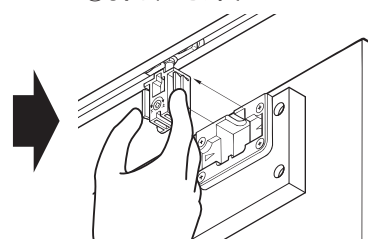
ローラーUが破損し、引き戸が落下してけがをするおそれがあります。



① つまむ



② 引き戸を外す

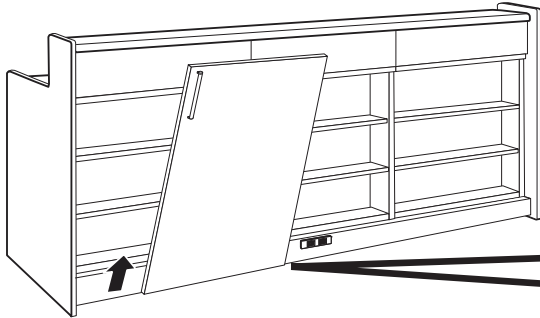


4. ご使用方法（続き）

引き戸について(続き)

2. 引き戸の取付け方法

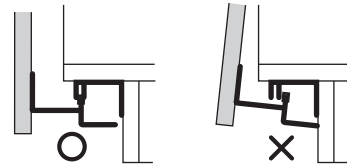
- ①引き戸下部の下レールガイドを下レールに差し込んでください。



お 願 い

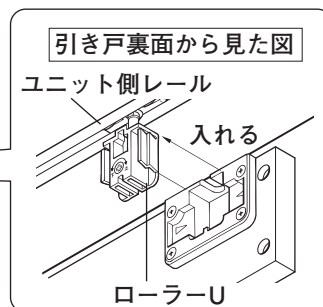
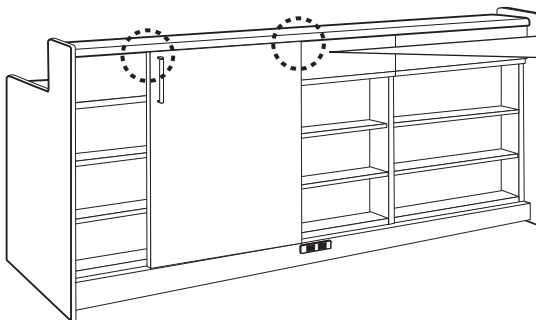
- 差し込み口に注意してください。

正しく差し込まれないと、引き戸下部のレールがこすれて破損したり、ユニットに傷をつけます。



側面図

- ②引き戸上部の吊り込み部品をローラーUにはめる。



- ③同様の手順でもう一枚の引き戸を取付ける。

⚠ 注 意

- 扉を無理に押し込まない。

ローラーUが破損し、引き戸が落下してけがをするおそれがあります。



- 引き戸の調整や、取り付け後には、下レールガイドとローラーUが確実にハマっていることを確認する。

引き戸が落下してけがをするおそれがあります。



4. ご使用方法（続き）

棚板の高さを変えるには

- 棚板の高さを変える際は、以下の要領で行ってください。製品によっては高さを変えられない機種や棚受けの形状が異なる機種もあります。

取外し方法（図-4）（図-6）

棚板を上方向に持ち上げて、取り外してから、左右で計4ヶ所の棚受けを矢印の方向に引抜いてください。図-6のタイプの場合は、棚受け前部のツメを外してから棚板を外してください。

注意

- 棚板の高さを変える際には、棚板上だけでなく、キャビネット内の収納物すべてを降ろしてから行う。

収納物が落下して、けがを
するおそれがあります。



- 棚板端のミゾよりも少し内側に手を添えて持ち上げる。

棚板と棚受けの間に手がはさまって、
けがをするおそれがあります。



取付け方法（図-5）（図-7）

左右で計4ヶ所の棚受けを希望の高さに合わせ、矢印の方向に押し込んでから、棚板を載せてください。

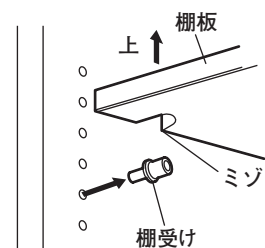
注意

- 棚受けは、4ヶ所同じ高さにセットする。

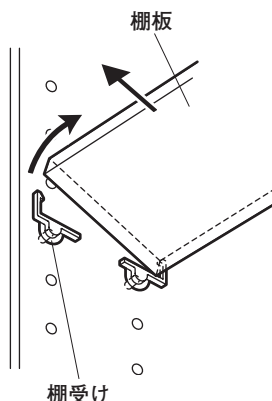
棚板が安定せず、外れて上の収納物が
落下して、けがをするおそれがあります。



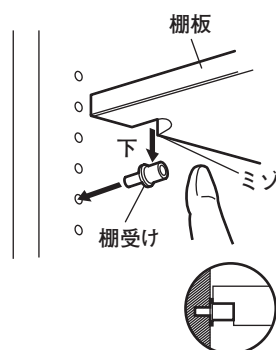
■図-4



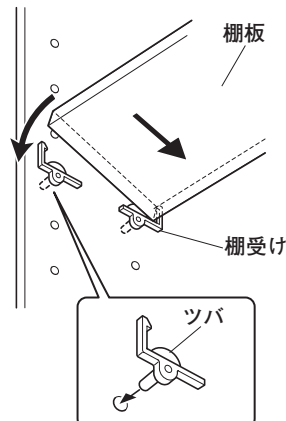
■図-6



■図-5



■図-7



棚受けにはツバがついていま
す。棚板は棚受けが抜けない
ようにツバを挟み込んで固定
してください。

棚受けにはツバがついていま
す。棚板は棚受けが抜けない
ようにツバを挟み込んで固定
してください。

5. お手入れ方法

- 汚れはお手入れが早いほど、簡単に落ちます。
こまめなお手入れがきれいにお使いいただける秘訣です。
- 下記以外の機器のお手入れについては、それぞれの機器に付属の「取扱説明書」をご覧ください。

メラミンカウンター・扉・キャビネット・キッチンパネル

- 軽い汚れは柔かい布で軽く拭いてください。
- 汚れのひどい時は、スポンジ等に台所用中性洗剤を含ませて軽く拭き、軽く水拭きし、乾いた布等で拭きとってください。
- 水がかかった時は、乾いた布等で拭きとってください。放置すると扉・キャビネットがふくれるおそれがあります。

お 願 い

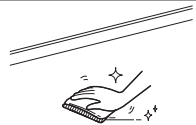
- クレンザー、硬いタワシなどは扉に傷をつけますので、使用しないでください。
- 台所用中性洗剤以外の洗剤・薬品・溶剤等を使用すると変色、変質の原因になりますので使用しないでください。



ステンレスボックス

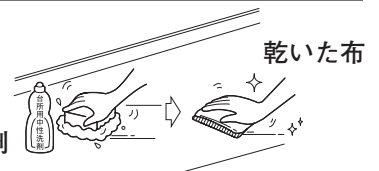
使用後はよく、水洗いし、乾いた布等で拭きとってください。

乾いた布



塩分や油脂分の汚れは、スポンジ等に台所用中性洗剤を含ませて拭いたあと、乾いた布等で拭きとってください。

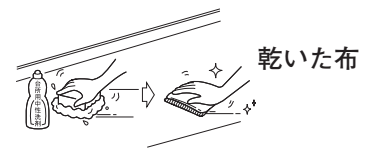
台所用中性洗剤



人造大理石カウンター

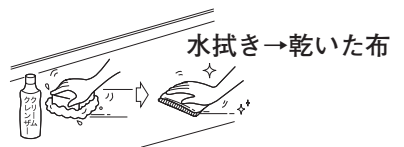
日常のお手入れは、スポンジ等に台所用中性洗剤を含ませて拭いたあと、乾いた布等で拭きとってください。

台所用
中性洗剤



汚れが落ちにくい場合は、台所用クリームクレンザーで汚れを落とし、水拭き後、乾いた布等で拭きとってください。

台所用クリーム
クレンザー



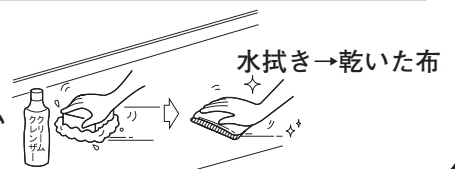
表面にすり傷がついた時は、ナイロンタワシで磨いてください。

ナイロンタワシ



以上のお手入れで光沢が均一でなくなった時は、台所用のクリームクレンザーで均一に磨き、水拭き後、乾いた布等で拭きとってください。

台所用クリーム
クレンザー



6. 仕様

商品名	製品本体に貼付けの銘板によりご確認ください。
製造企業名	株式会社ハウステック
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F☆☆☆☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチン・バス工業会表示指針による。
製造番号	製品本体に貼付けの銘板によりご確認ください。
ホルムアルデヒド 発散材料区分詳細	P B F☆☆☆☆ MDF F☆☆☆☆ 合板 F☆☆☆☆ 接着剤 F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.housetec.co.jp

7. 故障・異常の見分け方

● 故障・異常の見分け方と処置方法

現象	調べていただくところ	対処方法
扉がガタガタするとき	丁番のネジがゆるんでいませんか	6 ページ参照
引き戸がガタガタするとき	吊部品がローラーUから外れていませんか 下レールガイドが下レールから外れていませんか	7～8 ページ参照

- キッチン本体、組み込まれる機器などはそれぞれの取扱説明書を確認してください。
- 以上のことをお調べになり、それでも具合の悪い時は、すぐにお買上げの販売店にご連絡ください。

8. 保障・点検・修理のご案内

保証と保証期間について

- このシステムキッチンには、システムキッチン取扱説明書に無料修理保証書がついています。本体・組み込み機器それぞれの保証書を確認してください。
- 無料修理保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。
(保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください)
- 保証期間経過後の修理につきましては、販売店または営業所にご相談ください。

修理を依頼されるときは

- システムキッチンが正常に作動しないときは、11 ページの「故障・異常の見分け方」をご覧ください。それでも正常に作動しないときはすぐに使用を中止し、12 ページのお問い合わせ窓口または、お買い求めの販売店にご相談ください。
- アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。
 - ① ご住所、お名前、電話番号
 - ② 型式名：キャビネット内側に貼付してあるキャビネット銘板に記載されています。
 - ③ 現象：できるだけ詳しくお知らせください。
 - ④ 訪問ご希望日、道順（付近の目印も）

部品の最低保有期限

- 当社は、このシステムキッチンの補修用性能部品を、製造打切後、最低7年間保有しています。但し、組み込み機器などの補修用性能部品最低保有期限は、それぞれの保証書に記載されている期間となります。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 代替品対応部品：扉・引出し等の面材に関しては長期間の保存が技術的・品質的に困難なため、同等代替品での対応となる場合があります。

廃棄処分について

- 廃棄処分の際は必ず専門業者に依頼してください。

9. お問い合わせ窓口

●お客様ご相談窓口のご案内

商品のお問い合わせは(お客様相談窓口)

個人のお客様

0120-801-761

※携帯電話の場合 **0570-001-761** (有料)

販売・施工など業者様

0570-071-761 (有料)

●受付時間 平日 9:00～17:30 (12:00～13:00を除く)
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

修理のご用命は

個人のお客様

0120-102-471

※携帯電話の場合 **0570-002-471** (有料)

販売・施工など業者様

0570-022-471 (有料)

●受付時間 365日 24時間
(修理訪問は日中、地域により休日あり)

補修部品のご購入は(代引き販売窓口)

個人のお客様

0120-455-621

※携帯電話の場合 **0570-002-621** (有料)

販売・施工など業者様

0570-022-350 (有料)

●受付時間 平日 9:00～17:30 (12:00～13:00を除く)
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

本取扱説明書の記載内容や製品の仕様は、改良のため変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

株式会社 ハウステック

群馬県高崎市栄町1-1 ヤマダホールディングス本社11階内 〒370-0841 Tel.027-395-0410 www.housetec.co.jp